

新年度予算編成本格化 「市民生活の安心」実現へ

横浜市会議員 高橋まさはる

予算要望書を提出

平成22年度の予算編成において、500億円を超える財源不足が見込まれます。しかし、私たち公明党は財源不足を理由に市民生活の「質の低下」を招くことがあってはならないと考えます。



最重要要望として、①《世界から選ばれる都市》都市間交流や国際機関との連携強化を

求める、②《子育て支援の充実》保育所待機児童の解消など、③《高齢社会に安心》介護

人材の確保や敬老特別パスの存続など、④《健康社会の構築》女性特有のがん検診率の向上など、⑤《横浜経済の活性化》既存産業・

現場第一主義

今年も 予算編成にあたり、「市民生活の安心」「地域経済の活性化」の実現を目指します。そのためには、「庶民や中小企業、地域で困っている人の側に立ち、弱者は体を張ってでも守る」「人間主義に基づく新たな時代を切り開く」「格差を是正し、日本社会を安定させる」との視点が大切と考えます。今年も「現場第一主義」

の実現を求めました。また、緑区の重点要望としては、①未耐震である緑区総合庁舎の整備方針の明示、②JR横浜線の踏切の安全確保や連続立体化についての検討、③幹線道路の整備推進と歩道整備、④恩田川沿いに自然と融合した安全で快適な散歩道や自転車道の整備推進、⑤長津田駅南口のエレベーター設置にあわせた、駅前広場の整

「調査なくして発言なし」、また、発言にあたっては市民の目の高さでの、本質的な議論に徹して参りたいと決意します。

高橋まさはる プロフィール

●1959年 岡山県倉敷市生まれ ●02年 東芝ソシオシステムズ株式会社 横浜市会議員に初当選し現在2期目 ●03年 横浜市会議員団 政務調査会長
中山町320-5 ☎045-929-5305
www.masaharu.info